

山西省南部における方言の過渡的な特徴

講師：余 ^ヨ ^{ヤクリュウ} 躍龍 氏

(山西大学言語科学研究所 講師)

日時：2013年5月24日(金)

16:20～ *逐次通訳あり

場所：熊本学園大学14号館5階 第5会議室

参加費無料

中国山西省南部(汾河地域)の方言は、北部は晋方言、南部は中原官話と接しているため、双方の影響を受け、特徴的な音韻系統を有している。本報告はこの三つの方言の関係及びその違いに着目し、山西省南部における方言の過渡的な特徴を分析して、その帰属を明らかにしようとするものである。

《講師プロフィール》

略歴：文学博士、中国山西大学言語科学研究所講師。主たる研究テーマは、中国語方言(主に山西省の方言)の通時的及び共時的的研究。主な著書・論文に『浮山方言研究』(共著、九州出版社、2009)、「文水方言声母百年来的演变」(『語言研究』第29卷第4期、2009)等がある。2013年4月から二ヶ月間、資料調査のため、熊本市に滞在中。

当日の直接参加も受け付けておりますが、資料の配布ができなくなる場合もございますので、参加ご希望の方は、事前に下記までご連絡くださいますようお願いいたします。

熊本学園大学 学術文化課

〒862-8680 熊本市中央区大江2-5-1

TEL 096-364-5161 (代表) 内線 1773・096-364-8728 (直通)

FAX 096-364-5201 (直通)・Email kaigai@kumagaku.ac.jp